

草むしり

2024. 4. 10

4月8日（月）の朝は、春休み中とは違った。車の通行量が急に増えた。これは、毎年のものである。新学期スタートの日は、こうなる。小学生や中学生の姿が見える。高校生もいる。勤務する幼稚園は、小学校の敷地の一角にある。その小学校は、集団登校である。初日だからだろうか。親御さんの姿も多い。

以前からそうなのだが、子どもの登校時間帯に、子どもたちのそばを車で通っていくことに抵抗を感じる。それもあってか、どうしても出勤時間が早くなってしまう。今まではそうであったが、今回は我慢しようと思う。子どもたちが登校していく様子を見ながらも、慎重に車を走らせようと思う。

4月8日（月）の午前中のことだった。着任式と始業式が終わり、翌日の入園式に向けて、玄関周辺の草むしりを始めた。すると、一堂礼のピアノが聞こえてきた。すぐ隣が小学校の体育館だった。ちょうど入学式が始まったところだった。担任の先生の呼名が聞こえ、新入生の元気な返事が続く。ある種の懐かしさとともに、幸せな気分になることができた。幼稚園のすぐ隣が小学校というのもいいかもしれない。

草むしりは、もちろん外で行う。外にいと、職員室や校長室にいては、わからないことに気づく。意外と幼稚園の前を人が通る。郵便局があるせいだろうか。春の陽気、風の匂い、湿度までも感じることができる。こんな感覚は、久しぶりである。

小学校の入学式が終わった。小学校の技能主査さんが、幼稚園に来てくださった。小学校で使った花を貸してくださるのである。みんなで、小学校の体育館に行き、花を運んだ。どれも綺麗な花である。技能主査さんが、種から育てたそうである。愛情がこもっている。3月まで務めていた中学校の技能主査さんも、種から育てる人だった。お二人とも優しい人である。

これからも、外に草むしりに出れば、幼稚園児の声だけでなく、小学生の元気な声も聞こえてくることだろう。楽しみである。今までも、外の景色には目がいていた。吾妻山や安達太良山を毎日眺めてきた。だが、外の空気までは意識が及んでいなかった。せいぜい、今日は風が強いなあぐらいである。

もう何年も、まともに自宅の草むしりさえしてこなかった人間が、仕事とはいえ、草むしりをするようになるのだから、人生とはわからない。人は、元来、毎日外の空気に触れながら生活するべきなのであろう。草むしり、園長業務のルーティンが一つ見つかった。